

おんじや

《特集》

防災の視点で見るまちと暮らし

—災害を知り、リスクに備える—

大阪くらしの今昔館news

ユニーク家電大行進!! 昭和レトロ家電®-マスタコレクション展-

新年を祝う 菅楯彦 筆 住吉まゐり図

トピックス

住まいの防災

自然災害から家族や住まいを守る「風水害に備える」

大阪市住まいのガイド

借りる・買う・建てる・建て替える

各種住宅施策のご案内

volume

93

2023年冬号

〈今月の表紙〉

(此花区) 防災まち歩きの様子。

春日出橋から六軒家川水門を望む。



人と住まいを結ぶ情報発信基地

大阪市立 住まい情報センター



大阪公立大学大学院理学研究科・理学部教授の三田村さんの専門は第四紀地質学・都市地質学。まち歩きのリート作成のために実際に対象となる地域を歩くこともあるそう。



地域の災害リスクを確認しながらまちを歩く。



実践編、インストラクター養成編では、より深く学ぶための講座を実施。

eラーニング知識編のコンテンツ例

地震ベーシッククラス	風水害ベーシッククラス
地震のメカニズム	日本の国土の特徴と風水害
地震の種類	降水メカニズムと台風による雨
地震の被害1	災害をもたらす気象
地震の被害2	風水害のリスクを知ろう
津波のしくみと避難行動	避難のタイミングを考えよう
地震発生!その日の対応	タイムラインを作ろう

※1大阪公立大学都市科学・防災研究センター(UReC):大阪公立大学の開設に合わせて大阪市立大学の「都市研究プラザ」と「都市防災教育研究センター」が統合し2022年4月に開設。都市研究・都市課題に取り組む。

※2eラーニングを基本として、防災に関する知識を自分のペースで学べるほか、掲示板での質問や他の受講者との交流もできる。



※3第2、3段階のプログラムは1グループ10数名が集まれば開催できる。詳細は事務局へお問い合わせを。



防災の視点で見ると暮らす

—災害を知り、リスクに備える—

2023年9月で関東大震災から100年を迎えます。近年は南海トラフや千島海溝・日本海溝などで発生する巨大地震への備えが注目されています。大阪も災害と無縁ではありません。2018年6月の大阪府北部地震、続く9月の台風21号で大きな被害を受けました。地震、風水害は今後も発生する可能性が高く、誰もが災害に備えておかなければなりません。防災は難しい、大変、面倒、などと感じてしまいがちですが、まずは身近なまちを知るところから始めてみませんか？オンライン講座やまち歩きなど、日々の暮らしに防災の視点を取り入れるきっかけとなる取り組みを紹介します。



多様なコミュニティをつなぐ 防災人材を育てるプロジェクト 「MUSUBOU」

大阪公立大学都市科学・防災研究センター(UReC)副所長
三田村宗樹さん

大阪と災害

「大阪には府内を南北に貫く上町断層があり、地震が頻繁に発生するほか、これまでに数多くの台風被害も経験してきました。大阪は災害都市と言えるのではないのでしょうか」と教えてくれたのは、大阪公立大学都市科学・防災研究センター(UReC)※1副所長の三田村宗樹さん。防災について学べる仕組みづくりに携わっている。

同センターでは、コミュニティ防災人材育成プログラムのプラットフォーム「MUSUBOU」※2を開発している。「コミュニティ防災人材」とは、防災意識が高く、防災の専門知識があることに加え、フラットな立場で多様なコミュニティをつなぐことができる人だという。「地縁組織だけでなく、世代・企業・趣味・障

がい者・移住者などさまざまなコミュニティがあり、それぞれが独自に活動している。それらをつなぎ合わせることは、防災はもちろん地域でのそれぞれの課題解決にもつながるはず」と三田村さんは言う。

**自立した活動ができる
人材を育てる**

「MUSUBOU」における学びは第1段階・知識編、第2段階・実践編、第3段階・インストラクター養成編の3段階構成となっている。知識編はeラーニングで災害のメカニズム、対策などを学ぶ。親子・学生・マンションなど各コミュニティに対応したコンテンツも随時追加され、受講者が自由に学ぶことができる。

第2段階の実践編、第3段階のインストラクター養成編は、受講するグループ

防災の視点を養う

地震や台風は非日常だが、災害が起きた時に対応できるかどうかは日常のつながりが大きく影響する。「防災の視点を養い、日常生活のあり方を見直すことでリスクを減らすこともできる」と三田村さんは言う。地震が起きたら、浸水したらどうなるかを具体的に想像しながらまちを見る。普段なにげなく歩いている場所にとどくリスクがあるのか、備蓄倉庫・トイレ・公衆電話など災害時に地域で活用できるものがどこにあるのかなどを知っておく。さらに、高齢者、子ども、障がい者など状態が異なる人がそれぞれに感じるリスクの違いを知っておくことも重要な点だ。

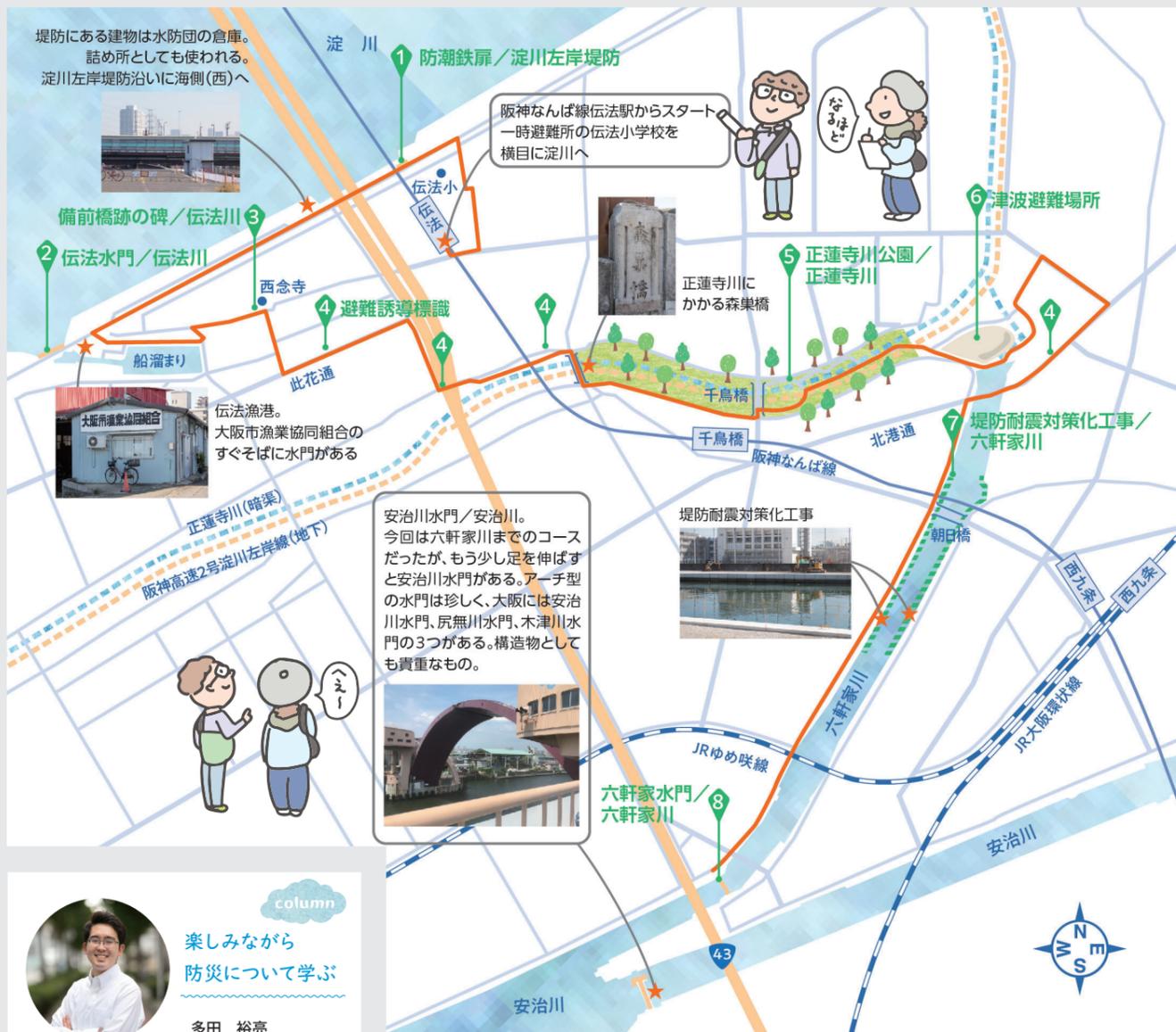
「MUSUBOU」のeラーニングコンテンツは時間と場所を問わず無料で利用できる。第2、3段階のプログラム※3は大阪市内を中心に実施しているが、今後は大阪府下や他府県でも展開する予定だ。



開発中のMUSUBOU-ARIはスマートデバイスを使って地震・火災・浸水などの災害時の状況をARで可視化するアプリケーション。

第3段階まで受講を終えたある受講生は、地域の子ども向けにスタンプリールや防災クイズを活用した防災まち歩きを企画・実施した。「MUSUBOU」には受講生同士が交流できる場があり、そこで生まれたアイデアを取り入れたという。三田村さんは「防災はネガティブなイメージを持たれてしまいがち。AR(拡張現実)やICTなどのデジタルツールを活用したり、ゲーム的な要素を取り入れるたり、楽しみながら参加できる方法を考えることは重要。受講生同士の交流が活動の幅を広げ、継続につながれば嬉しい」と話す。

マップはイメージです



楽しみながら
防災について学ぶ

多田 裕亮

今回は此花区で、暗渠となった川、埋め立てられた川など土地の歴史を交えながら、治水や避難に適した場所などを知るコースを考えました。約2時間で5kmほどを歩きました。避難経路なのに車の通行量が多く、歩道が狭くて危険な道があるなど、歩いたからこそ気づけたこともありました。

防災まち歩きでは、災害に備えるための具体的な知識を得ることに加え、まちの特徴や魅力を知る楽しさも大切です。私は歴史に興味があるので、寺社仏閣があれば由来を調べたり、なにげなく残された堤防の痕跡を探したりしてまち歩きのコースを作っています。

水の都と呼ばれるほど川は大阪の魅力の一つです。一方で、水害からしっかりとまちを守らなくてはなりません。私は水防団に所属していますが、あちこちで高齢化が叫ばれています。防災まち歩きなどをきっかけに、地域の防災にも興味を持てただけると嬉しいです。

8 六軒家水門／六軒家川

大阪の治水は(1)高い堤防、(2)大水門の大きく2つの方法で行われている。六軒家水門は(2)大水門の一つ。水門を境に、上流側は堤防が低く、海側はかなり高くなっている。①は(1)高い堤防による治水。



7 堤防耐震対策化工事／六軒家川

地震による液状化現象を防ぐための堤防耐震対策化工事が、大阪府内全域で行われている。六軒家川も両岸の堤防が工事中。耐震化が完了した部分と工事中の部分、どちらも見る事ができた。



3 備前橋跡の碑／伝法川

日本仏教上陸の地、なにわ津の船守「傳法山西念寺」の門前にある「傳法山門前 備前橋跡」の碑(右)。かつて伝法川が門前を流れ、「備前橋」がかかっていた。水運が主流の尼崎街道の「大坂道」の碑も。



ちなみに、淀川のうなぎやしじみけ料亭などで扱われる高級食材。

6 津波避難場所

正蓮寺川公園の端にある小高い丘上のグラウンドが「津波避難場所」に指定されている。低い土地が多い大阪ではより高いところへの垂直避難も意識したい。



2 伝法水門／伝法川



伝法川と淀川の合流地点にあるのが伝法水門。伝法川は埋め立てられ、水門から続く水路と船溜まりがその名残り。伝法水門は遠隔操作が可能で、閉じる際には赤い部分が真下に降りる。



5 正蓮寺川公園／正蓮寺川

正蓮寺川は暗渠化され、地下を通る阪神高速2号淀川左岸線の脇を流れる。地下道路の真上は正蓮寺川公園として整備され、市民の憩いの場となっている。園内には整備前の川の様子わかる空中写真がある。大雨時に雨水を一時貯留して、下水道へ流す役目を持つ。公園は森楽橋から千鳥橋を越えて、六軒家川との合流地点まで続く。



1 防潮鉄扉／淀川左岸堤防

赤い部分が防潮鉄扉。線路が敷かれた橋梁が堤防より低く、堤防が途切れている。開閉は地域の水防団が行う。現在、橋梁架替え工事が行われており、防潮鉄扉が必要なくなる高さになる。



4 避難誘導標識

「広域避難場所」「津波避難場所」「津波避難ビル」など、防災に関する標識を見つけたら何が書いてあるか確認する。避難所の収容人数には限りがあるため複数の避難場所を知っておくことが大切。



ナビゲーター
ただ ひろあき
多田 裕亮さん



防災士。明石工業高等専門学校在籍時から防災団の立ち上げに関わり、防災ゲームを開発。大学進学後は大阪の防災意識向上を目的とした任意団体「大阪防災プロジェクト」を設立。淀川右岸水防団に所属。

住まい情報センター/
あんじゅ編集部
栗田さん



住まい情報センタースタッフ。あんじゅの編集を担当。防災まち歩きは今回が初めて。

住まいの防災

自然災害から家族や住まいを守る
「風水害に備える」

災害の特徴や被害想定を知る

災害の備えとして重要なことの一つに、災害に対する知識を得ておくことがあります。例えば、台風がどのような災害を、どのようなメカニズムで引き起こすのかについて知ることで、被害を想定して住まいを守る対策を考えたり、早めの避難をしたり、災害に備えることにつながります。

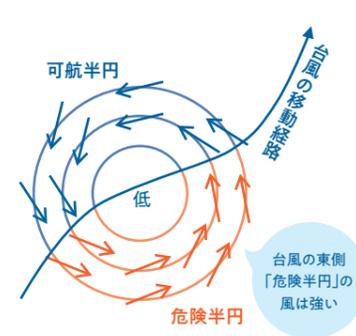
地域の災害リスクを知るためにハザードマップを活用しましょう。2020年には大阪港湾局が大阪市の高潮ハザードマップを公開しました(図2)。想定しうる最大規模の高潮が発生すると、上町台地より西側の大半と大阪城の北東側に深刻な被害が出る可能性が示されています。その他、洪水・内水氾濫・津波のハザードマップが公開されています。不動産取引においては、2020年に水害ハザードマップの提示が義務化されました。

気象情報を入力し備える

台風が発生すると気象庁のウェブサイトで、大きさや強さ、進路予測、暴風域に入る確率などの情報が提供されます。前触れなく起こる地震とは異なり、台風は発生後から近づくまでに時間があり、状況を確認しながら被害に備えることができます。

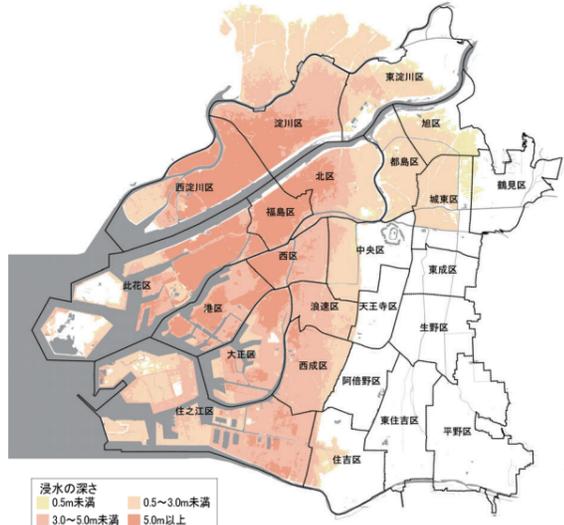
- 台風が近づいたら、気象情報、避難・交通情報をこまめに確認する。備蓄の確認。
- 暴風域に入る直前、窓ガラス等の保護。外にあるものが飛ばないようにする。早めの避難。
- 暴風域にいない間、屋外に出ない。窓から離れる。

(図1) 台風の危険半円



大阪は全国的にみても高潮のリスクが高い地域です。2018年の台風21号でも高潮や強風による被害がありました。高潮は主に「1」台風の低い気圧により海面が吸い上げられること、「2」暴風により海水が岸へ吹き寄せることで発生します。また、風は台風の中心から30〜100km離れた地点や、進路の東側でより強くなります(図1)。

(図2) 大阪市の高潮ハザードマップ(令和2年8月公表)



気象情報については、風の強さ、雨の強さによってどんな影響が出るのかを知っておくと安心です(図3)。台風や近年増加している線状降水帯など豪雨のパターンにも色々ありますが、気象予測には不確実性もあります。お住まいの地域だけでなく、隣接する市域など周辺まで含めて予測値を参考にしながら、最悪の被害を想定した行動を選択できるようにしましょう。

(図3) 雨の強さと降り方 (参考:気象庁ウェブサイト)

1時間雨量(mm)	予報用語	人の受けるダメージ
10以上~20未満	やや強い雨	ザーザーと降る
20以上~30未満	強い雨	どしゃ降り
30以上~50未満	激しい雨	バケツを引っくり返したように降る
50以上~80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)
80以上~	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる

100年に1度、1000年に1度の災害が起こると聞いても、人間の一生よりも長い周期で起こる災害のことは想定しづらいかもしれません。しかし、100年に1度の台風が50年の間に訪れる確率は約40%と決して低くはありません。火災で焼失するリスクよりも高いのです。加えて、気候変動の影響で大災害の発生頻度は高まる可能性もあります。過去の災害から学ぶとともに、自分たちの経験を越える災害が起こることも想定して対策を講じることが、今後の気候変動予測結果の動向に注意を払うことが重要です。

- ハザードマップポータルサイト「わがまちハザードマップ」
- 気象庁 雨の強さと降り方
- 気象庁 風の強さと吹き方



住まいのライブラリー通信

おやこで楽しむ♪

おはなし会!!&100かいだてのおうちをつくろう!を開催しました



完成した作品はダンボールでできた大きな木にのせて記念撮影。



1人が10階分のおうちを作りました。



壁や屋根、木、はしこなどたくさんのパーツを選び放題。



子どもたちは物語に惹き込まれていました。



住まい情報センター4階にある住まいのライブラリーをご存知でしょうか?吹き抜けるの明るい空間にぐるりと本棚がある小さな図書館です。専門書だけでなく絵本もあり、大人子どもも住まいに関する本を手にとっていただけます。2022年11月20日に、住まいのライブラリーを使った初めてのイベント「おやこで楽しむおはなし会!!&100かいだてのおうちをつくらう」を開催しました。たくさんの応募があり、抽選の結果9組の親子に参加いただきました。

おはなし会では、絵本専門士が、縦1mもある大型本を使って『もりの100かいだてのいえ』(作:いわいとしお、偕成社、2021年出版)を読み聞かせ。その後、絵本をイメージしながら親子でおうちをつくるワークショップを行いました。縦長の台紙に、様々なパーツを思い思いに貼り付け、子どもたちがそれぞれ10階建てのおうちを作りました。最後に、「カラフルなおうち」「そのおうち」など、テーマと工夫したことなどを発表。繋ぎ合わせて完成した「100かいだてのおうち」に歓声があがりました。

「また作りたい!」「家で続きをやりたい!」という子どもたちには、作ったおうちと一緒に追加したいパーツも持ち帰ってもらいました。楽しい本があったので、また子どもと訪れたいですという声も。今後ぜひ住まいのライブラリーにお越しください。

「住まいのライブラリー」ってどんなところ?

住まい情報センター4階



後日、写真を貼り付けてライブラリーに展示しました。



担当者 おすすめ書籍!

いわいとしお作『もりの100かいだてのいえ』(偕成社、2021年5月出版)



「100かいだてのいえ」シリーズの1冊。音楽好きの主人公、オトちゃんが森の中の大きな木にある100階建ての家を訪れる。1階ごと、10階ごとにたくさんのしかけがあり、ページをめくるとに細かいところまで見入ってしまう絵本。住まいのライブラリーの絵本の中でも子どもたちに人気がある1冊。

※令和4年3月末時点

教えてくれたのは



大阪公立大学 都市科学
防災研究センター兼任研究員、
大阪公立大学大学院工学研究科准教授
なかじょう たかひろ
中條 壮太 先生

借りる・買う・建てる・建て替える

大阪市住まいのガイド

紹介している大阪市の公的賃貸住宅や各種制度について、より詳しくお聞きになりたい方はお気軽にお問合せください。



「おおさか・あんじゅ・ネット」からそれぞれの制度へリンクしています。

住まい情報センター
相談専用電話

TEL:6242-1177

分譲マンション管理組合の皆様へ

大阪市マンション管理支援機構への登録が分譲マンション管理計画認定制度※の認定要件になっています！

大阪市では、管理組合による分譲マンションの適正な維持管理を支援するため、公共団体等・専門家団体・民間事業者団体と連携・協力して設立した大阪市マンション管理支援機構において、管理組合に対する情報提供や普及啓発に取り組んでいます(図1)。

同機構にご登録いただいた管理組合様には、マンション管理に役立つ情報誌「らいふあつぷ」やイベントの開催案内(図2)をお届けしていますので、ぜひご登録ください。登録費用は無料で、現在、大阪市内の1,300を超える管理組合様にご登録いただいています。

※分譲マンション管理計画認定制度

管理組合運営や長期修繕計画など分譲マンションの管理計画が一定の基準を満たす場合、管理組合からの申請により大阪府が管理計画を認定する制度。



図2 情報誌「らいいふあつぷ」等

お問い合わせ:大阪市都市整備局 住宅政策課
(住宅政策グループ)
TEL:06-6208-9224

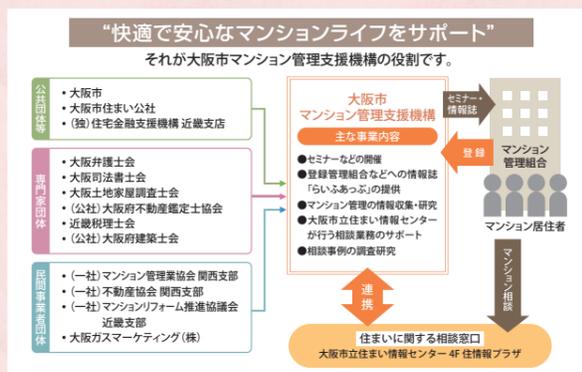


図1 大阪市マンション管理支援機構 組織概要

お問い合わせ:大阪市マンション管理支援機構事務局
TEL:06-4801-8232 FAX:06-6354-8601



住まいを借りる(公的賃貸住宅等)

- **市営住宅** ・住宅に困っておられる所得の低い方々向けの賃貸住宅です。原則として大阪市内にお住まいの方が対象です。
・収入基準は、一般世帯で 158,000 円以下、高齢者・障がい者世帯等で 259,000 円以下(月額所得額)となります。

募集種別(募集時期)	概要	お問い合わせ
定期募集等【抽選】 (例年7月上旬、11月上旬、2月上旬)	収入・同居親族等の条件があるほか、一般世帯・新婚・子育て・単身者向け等、各申込区分により申込資格を設定しています。一部の申込区分では、府内居住、市内在勤の方も申込みができます。	市営住宅募集センター募集担当※ ●TEL:6882-7024 ●FAX:6882-7051
福祉目的募集【抽選】 (例年5月上旬)	ひとり親(配偶者のない方とその子ども(20歳未満)のみで構成する世帯)、高齢者(60歳以上)および障がい者(障がい者手帳(身体・精神・療育)等を所持していること)の方々が対象であり、各申込区分により申込資格を設定しています。申込書類は各区保健福祉センターで配布します。	ひとり親住宅/大阪市子ども青少年局 子ども家庭課 ●TEL:6208-8035 ●FAX:6202-6963 高齢者向け住宅/大阪市福祉局 地域包括ケア推進課 ●TEL:6208-8060 ●FAX:6202-6964 障がい者向け住宅/大阪市福祉局 障がい福祉課 ●TEL:6208-8081 ●FAX:6202-6962
随時募集【先着順、一部抽選】	定期募集等において、応募者が募集戸数に満たなかった住戸について、先着順で随時募集を行っています。募集住戸の追加[例年、年3回(4月・8月・12月)]があり、追加住戸については、抽選で入居者を決定します。	市営住宅募集センター募集担当※ ●TEL:6882-7024 ●FAX:6882-7051

- **中堅層向け住宅** 公営住宅の収入基準を超えている方等、中堅所得者向け賃貸住宅(先着順)です。大阪市外にお住まいの方も申し込みができます。
- **その他の公的賃貸住宅**

住宅種別	お問い合わせ	管理者	お問い合わせ
大阪市管理 市営すまいりんぐ(子育て応援型)・市営すまいりんぐ・市営特定賃貸住宅・市営再開発住宅	市営住宅募集センター募集担当※ ●TEL:6882-7012 ●FAX:6882-7051	大阪府	大阪府営住宅藤井寺管理センター ●TEL:072-930-1090
大阪市住まい 公社管理	大阪市住まい公社募集担当 ●TEL:6882-9000 ●FAX:6882-7021	大阪府 住宅供給公社	大阪府住宅供給公社募集グループ ●TEL:6203-5454
		都市再生機構 (UR都市機構)	UR梅田営業センター●TEL:6346-3456 空室情報フリーダイヤル:0120-23-3456

※市営住宅募集センター募集担当とは、大阪市営住宅指定管理者大阪市住宅供給公社市営住宅募集センター募集担当のことです。

民間賃貸住宅

制度名称	制度概要	お問い合わせ
セーフティネット住宅登録制度	低額所得者や高齢者、障がい者、子育て世帯等の住宅の確保に特に配慮を要する方の入居を拒まない住宅として、大阪府に登録された民間賃貸住宅を、以下のサイトで検索できます。 (セーフティネット住宅情報提供システム)https://www.safetynet-jutaku.jp/guest/index.php	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9222 ●FAX:6202-7064
サービス付き高齢者向け住宅登録制度	高齢者が安心して暮らすことができる住宅として、大阪府に登録された住宅を、以下のサイトで検索できます。 (サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム)https://www.satsuki-jutaku.jp/	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9648 ●FAX:6202-7064
大阪あんぜん・あんしん賃貸住宅登録制度	高齢者、低額所得者、障がい者、外国人、子育て世帯等の入居を拒まない賃貸住宅や、その仲介を行う協力店、入居の支援を行う団体、相談の窓口等が、以下のサイトで検索できます。 (あんぜん・あんしん賃貸検索システム)http://sumai.osaka-anshin.com/	大阪府 居住企画課 ●TEL:6210-9707 ●FAX:6210-9712

※大阪市の市外局番は「06」です。※各事業の詳細は、おおさか・あんじゅ・ネット(https://www.osaka-angenet.jp/)および大阪市ホームページでご確認ください。

※補助・助成事業の利用にあたっては申請手続きが必要です。事業によって要件や受付期限が異なりますので、詳しくは窓口にお問合せください。

住まいを買う・建てる・建て替える・解体する

制度名称	制度概要	お問い合わせ
大阪市新婚・子育て世帯向け分譲住宅購入融資利子補給制度	初めて住宅を取得する新婚世帯・子育て世帯を対象に、住宅ローンの利子の一部を補助します。なお、予算の範囲内で先着順に受付します。申込みにかかる資格要件につきましては窓口までお問い合わせください。	大阪市都市整備局 住宅支援受付窓口(住まい情報センター4階) ●TEL:6356-0805 ●FAX:6356-0808
大阪市子育て安心マンション認定制度	'子育てに配慮した仕様'と'子育てを支援する環境'を備えた良質な民間の新築マンションを認定し、その情報を大阪市ホームページ等で広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局 安心居住課 ●TEL:6208-9648 ●FAX:6202-7064
大阪市防災力強化マンション認定制度	耐震性及び耐火性等建物の安全性に関する基準に適合することに加え、被災時の生活維持に求められる設備・施設等の整備、住民による日常的な防災活動等により防災力が強化されたマンションを認定し、広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局 まちなみ環境グループ ●TEL:6208-9631 ●FAX:6202-7064
大阪市エコ住宅普及促進事業	断熱性能が高く、太陽光発電や省エネ性能に優れた設備などを備えたマンション等を「大阪市エコ住宅」として認定し、広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口(住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053 ●FAX:6882-0877 ※重点対策地区および対策地区の詳細はお問合せください。
民間老朽住宅建替支援事業	集合住宅への建替建設費補助 重点対策地区において、昭和56年5月31日以前建築の建物を集合住宅(マンション・アパートなど)に建替える場合、建替費用の一部を補助します。 隣地を取得した戸建住宅への建替建設費補助 対策地区において、未接道敷地や狭小敷地を解消するために隣地を売買で取得した敷地において、昭和56年5月31日以前建築の建物を戸建住宅に建替える場合、設計・解体費用等の一部を補助します。 狭い道路に面した古い木造住宅の解体費補助 対策地区において、幅員4m未満の道路に面する昭和25年以前建築(重点対策地区においては、幅員6m未満の道路に面する昭和56年5月31日以前建築)の木造住宅を解体する場合、解体費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口(住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053 ●FAX:6882-0877 ※重点対策地区および対策地区の詳細はお問合せください。
防災空地活用型除却費補助制度	重点対策地区において、幅員6m未満の道路に面する昭和56年5月31日以前建築の木造住宅を解体し、跡地を災害時の避難等に役立つ防災空地として活用する場合、解体費用及び空地整備費用の一部を補助します。 ※本制度を活用して防災空地を整備した場合、土地の固定資産税・都市計画税が非課税になります(整備の翌年以降)。	大阪市都市整備局 密集市街地整備グループ ●TEL:6208-9235 ●FAX:6202-7025 ※重点対策地区の詳細はお問合せください。

住まいを改修する

制度名称	制度概要	お問い合わせ
大阪市耐震診断・改修補助事業	一定の要件を満たす戸建住宅等の所有者に対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事・耐震除却工事に必要な費用の一部を補助します。また、木造住宅の所有者に対して耐震事業者の情報を提供しています。	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口(住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053 ●FAX:6882-0877
大阪市空家活用改修補助事業	空家の利活用に向けた良質なストックへの改修を促進するため、住宅の性能向上に資する改修工事や地域まちづくりに資する用途への改修工事等に要する費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口(住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053 ●FAX:6882-0877
マンション耐震化緊急支援事業	一定の要件を満たすマンションの所有者や管理組合などに対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事に必要な費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 民間住宅助成グループ ●TEL:6208-9228 ●FAX:6202-7064
ブロック塀等撤去促進事業	道路等に面した一定の高さ以上のブロック塀等の撤去および軽量フェンス等の新設工事に要する費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 まちなみ環境グループ ●TEL:6208-9631 ●FAX:6202-7064
大阪市子育て世帯等向け民間賃貸住宅改修促進事業	LDK化や断熱改修、ユニットバスの新設・改良工事等、子育て世帯等の入居に資する改修工事を行う民間賃貸住宅のオーナーに対して、改修工事費の一部を補助します。	大阪市都市整備局 民間住宅助成グループ ●TEL:6208-9228 ●FAX:6202-7064
大阪市地域魅力創出建築物修景事業(修景に関する無料相談など)	建物の修景の促進により地域魅力の創出を図るため、「修景相談」と「修景補助」を実施するとともに、修景された建物等を活かした「魅力発信等」に取り組んでいます。まずはお気軽に建物の修景についてご相談ください(無料)。	大阪市都市整備局 まちなみ環境グループ ●TEL:6208-9631 ●FAX:6202-7064
高齢者住宅改修費給付事業	介護保険制度の居宅介護(介護予防)住宅改修費の支給を受ける方が属する世帯等で、生活支援・介護予防の観点から真に住宅改修が必要と認められる世帯の住宅改修費用の一部を給付します。	各区保健福祉センター 保健福祉課
重度心身障がい者(児)住宅改修費給付事業	在宅の重度の身体・知的障がい者、難病患者等の方が、日常生活上の障がいの除去または軽減に直接効果のある改修工事を行うとき、工事費用の一部を給付します。所得制限があります(ただし、介護保険制度が適用される方は本制度の対象となりません)。なお、必ず事前に申請が必要です。	各区保健福祉センター 保健福祉課

分譲マンション管理組合の方へ

制度名称	制度概要	お問い合わせ
分譲マンション勉強会支援アドバイザー派遣制度	分譲マンションの管理組合等が実施する勉強会を支援するため、その講師として一級建築士や弁護士などの専門家を無料で派遣し、建物の技術的な内容や法的な問題等に関する一般的なアドバイスをを行います。	予約申込 住まい情報センター ●TEL:6242-1177(相談専用)
分譲マンション管理適正化支援アドバイザー派遣制度	築30年以上で管理に課題を抱えている分譲マンションの管理の適正化を支援するため、建築士・弁護士・マンション管理士などの専門家を無料で派遣し、それぞれのマンションが抱える課題の解決に向けたアドバイスをを行います。	大阪市都市整備局 住宅政策グループ ●TEL:6208-9224 ●FAX:6202-7064
分譲マンション長期修繕計画作成費助成制度	長期修繕計画の作成又は見直しを行う管理組合に対して、作成費用の一部を補助します。補助率:補助対象となる経費の1/3 補助限度額:1件当たり30万円	大阪市都市整備局 住宅政策グループ ●TEL:6208-9224 ●FAX:6202-7064
分譲マンション再生検討費助成制度	再生(改修や建替えなど)に向けた検討を行う管理組合に対して、検討費用の一部を補助します。補助率:補助対象となる経費の1/3 補助限度額:1回当たり60万円	大阪市都市整備局 住宅政策グループ ●TEL:6208-9224 ●FAX:6202-7064
大阪市マンション管理支援機構	公共団体や、建築、法律等の専門家団体等が連携して、分譲マンションの管理組合を支援します。登録組合には、セミナーの開催案内や情報誌等を無料で送付します。	大阪市マンション管理支援機構事務局(住まい情報センター4階) ●TEL:4801-8232 ●FAX:6354-8601

MESSAGE BOARD

メッセージボード

第35回大阪市ハウジングデザイン賞の受賞住宅が決定しました！

大阪市では魅力ある良質な共同住宅・長屋・戸建住宅の集合や既存建物を有効活用した改造住宅、維持管理の良好な住宅等を表彰することにより、良質な都市型集合住宅の普及を促進し、市民の皆様や住宅供給に携わる方々の住宅に対する関心を高めていただけるよう大阪市ハウジングデザイン賞を実施しています。このたび令和4年度の受賞住宅が決定しましたので、「第9回大阪市ハウジングデザインシンポジウム」内で表彰式を行います。

大阪市ハウジングデザイン賞



撮影者：笹の倉舎/笹倉洋平
寺田町アレイス1
(天王寺区寺田町2丁目・新築・賃貸)

大阪市ハウジングデザイン賞特別賞



グランドメゾン新梅田タワー
THE CLUB RESIDENCE
(北区大淀南2丁目・新築・分譲)



東急マンション弁天町
(港区弁天4丁目・維持管理・分譲)



詳細はこちらのホームページをご覧ください

【お問い合わせ】

都市整備局企画部住宅政策課
民間住宅助成グループ
電話：06-6208-9226
FAX：06-6202-7064
※問い合わせ可能日、可能時間
(平日9:00～17:30)

第9回大阪市ハウジングデザインシンポジウム「長屋から考えるこれからの都市居住」



西橋詰町の長屋
(京都市)



撮影者：大坊崇
林寺2丁目長屋
(大阪市生野区)

長屋がリノベーションされ、住まいや店舗として活用されています。一方で、老朽化した長屋が問題となっています。京都で長屋等の改修を多く手掛けている建築家の魚谷繁礼氏をお招きし、林寺2丁目長屋で第34回大阪市ハウジングデザイン賞特別賞を受賞した建築家の吉永規夫氏の大阪での活動とともに、長屋経営の歴史や長屋が抱えている問題と向き合いながら、長屋の魅力や可能性とこれからの都市居住について考えます。2月25日(土)開催。シンポジウムのお申し込み方法は本誌P11に掲載しています。

リサイクルブックフェア 令和5年1月21日(土)開催！



住まいのライブラリー案内犬 すまいまる



ブックフェアの詳細はこちら

リサイクルブックフェアを開催します！

住まいのライブラリーでは、保存期限を過ぎた雑誌の他、役目を終えた図書や除籍資料など、約500冊をリサイクル図書として無料でお譲りします。本が残った場合は、1月22日(日)～2月27日(月)まで、4階住情報プラザ開館時間内で引き続き開催いたします。どなたでもお申し込みいただけます。リサイクルブックフェアのお申し込み方法や詳細については、本誌P11に掲載しています。

- 日 時：令和5年1月21日(土) 13:00～16:00
- 会 場：大阪市立住まい情報センター3階ホール
- 締 切：令和5年1月7日(土) 必着
- ※事前申込が必要・完全入替制
- 【各回30分間・15名程度・一人5冊まで】
- ※締め切り後抽選(定員90名)
- お問い合わせ：住まい情報センター4階 住まいのライブラリー担当 電話：06-6242-1160

大阪市立 住まい情報センター のご案内

相談専用電話 (06) 6242-1177

住まいに関するご相談をお受けいたします **無料** **住まいの1級相談** (随時/窓口相談・電話相談) 公的賃貸住宅などの住まい探しをはじめ、住まいを購入するときや建てる際の一般的な注意点、分譲マンション管理に関する情報や大阪市を中心とした住宅施策などに関するご質問に、窓口または電話で相談員が対応します。まず相談内容をお聴きして、問題点の整理・解決のために必要な知識や情報を提供します。英語・中国語・韓国・朝鮮語にも対応します。(外国語対応は17時まで)

■住まいの専門家相談(予約制/面接相談) ご予約は30日前からお受けしています。お申込みには、相談員が一般相談で内容をうかがってから予約します。詳しくはお問い合わせください。

専門家相談日時	内 容
住まいの法律 概ね毎週土曜日 (10時～13時30分)	借家・借地・土地・建物・相続等に関する法律上の相談(弁護士)
住まいの資金計画 隔週土曜日 (10時30分～12時)	住宅取得やローン返済、高齢期の住まいと暮らしに関する資金計画等(ファイナンシャルプランナー)
建築・リフォーム 隔週土曜日 (10時～13時)	建築設計や施工上の問題・建築関係法令等(建築士)
分譲マンション(法律) 概ね月1回日曜日 (13時～16時)	管理組合運営・管理規約等に関する法律上の相談(弁護士)
分譲マンション(管理一般) 概ね毎週木曜日 (14時～18時)	管理組合運営・管理規約・長期修繕計画等に関する相談(マンション管理士)

■連携機関による定期相談(面接相談)

(公社)大阪府建築士会による建築相談：毎週日曜日13時～16時(受付は当日の12時30分～15時30分) ※12時30分に相談を受ける順番の抽選があります。
近畿税理士会による税務相談(予約制)：毎週土曜日(但し、2・3月を除く)13時～16時 (TEL.06-6242-1177で予約受付)

インフォメーション



〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20 大阪市立住まい情報センター4階
TEL.06-6242-1160 FAX.06-6354-8601
おおさか・あんじゅ・ネット <https://www.osaka-angenet.jp/>

※新型コロナウイルス感染症拡大の防止等、やむを得ない状況により変更になる場合がございます。
※ご利用の際には、マスクの着用や、手指消毒、他の方との距離を最低1mに保つなど、対策にご理解・ご協力をお願いいたします。



●住まいに関するご相談をお受けいたします **無料** **住まいの1級相談** (随時/窓口相談・電話相談) 公的賃貸住宅などの住まい探しをはじめ、住まいを購入するときや建てる際の一般的な注意点、分譲マンション管理に関する情報や大阪市を中心とした住宅施策などに関するご質問に、窓口または電話で相談員が対応します。まず相談内容をお聴きして、問題点の整理・解決のために必要な知識や情報を提供します。英語・中国語・韓国・朝鮮語にも対応します。(外国語対応は17時まで)

3階 ホール



定員：机利用の場合/150席
椅子のみの場合/300席
※控え室もあります。

※新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため、使用人数を変更しております。詳しくはお問い合わせください。

4階 住まいのライブラリー



●住まいのライブラリーで図書・雑誌などを利用できます **無料** 住まいや暮らし、大阪に関する図書、建築本や雑誌、機関誌、ミニコミ誌、企業広報誌、絵本などを自由に閲覧していただけます。また、図書の貸し出しも行っています(一部を除く)。

5階 研修室



定員：机利用の場合/54席
椅子のみの場合/70席
※研修室は区切って、少人数でもご利用いただけます。

交通アクセス

- Osaka Metro谷町線・堺筋線、阪急電鉄「天神橋筋六丁目」駅下車3号出口直結
- JR大阪環状線「天満」駅から北へ約650m
- お車で越しの場合は阪神高速道路「守口線」長柄出口 都島通り経由、約500m

開館時間

- 4階 住情報プラザ(相談・ライブラリー)
平日・土曜日/9:00～19:00
日曜日・祝日/10:00～17:00
- 3階 ホール/5階 研修室・会議室
平日・土曜日/9:00～21:00
日曜日・祝日/9:30～17:00

休館日

- 火曜日(祝日の場合は翌日)
- 祝日の翌日(日曜日、月曜日の場合を除く)
- 年末年始(12/29～1/3)
- ※上記のほか臨時休館する場合があります。



企画展

ユニーク家電大行進!! 昭和レトロ家電®-マスダコレクション展-

昭和30年代のレトロ家電に魅せられ、20年以上にわたって収集した増田健一氏の貴重なコレクションを3年ぶりに大公開します。7回目となる今回はマスダコレクションの中からとっておきのユニーク家電約150点をずらりと展示。なんでも電化してみようという時代ならではの驚きのアイデア家電や、宇宙ブームなど時代を反映した家電、デザインが特徴的な家電などなど、たっぷりとお楽しみください。

- ◆会 期: 令和4年12月24日(土)～令和5年2月19日(日)
- ◆主 催: 大阪くらしの今昔館
- ◆観覧料: 企画展のみ300円

大阪の長屋

長屋建てという町屋の棟割り長屋のイメージが一般的ですが、近世の大坂では表通りの商家の多くが長屋建てでした。近代にはいと和風・洋風さまざまな様式が生み出されました。近年、長屋が激減するなかで、その再生や活用が注目を集めています。本展では、大阪の長屋の建築様式や住まい方に焦点をあて、近世から現代までつくづく大阪の長屋の伝統をひもとき再評価します。

- ◆会 期: 令和5年2月25日(土)～4月16日(日)
- ◆主 催: 大阪くらしの今昔館
- ◆観覧料: 企画展のみ300円

※本誌p14館情報を参照ください。



早川(現シャープ)宇宙ロケット型ラジオ「トランケット」昭和34年(1959)



松下(現パナソニック)ポータブル加湿器「ハーモニー」昭和44年(1969)



昭和10年 住吉区加賀屋の長屋

常設展

■商家の賑い
・令和5年4月16日(日)まで

季節のしつらい

- 正月飾り
・令和5年1月3日(火)～16日(月)
- 雛飾り
・令和5年2月15日(水)～4月2日(日)

イベント

■上方の花と粹-座敷舞
・1月29日(日) 14:00～
山村流の立ち方が華やかな舞を披露します
・出演: 山村若女ご一門



■和楽器のしらべ
・2月23日(木・祝) 14:00～
伝統的な和楽器の響きをお楽しみください
・出演: 菊聖一 他



■今昔館のひな祭り
・3月5日(日) 13:30～
昔のひな祭りの様子を描いた絵などを見ながらひな祭りのお話を聞きましょう

ワークショップ

■今昔館に初もうで-お正月の昔遊び-
・1月3日(火)～9日(月・祝)
双六、かるた、百人一首等、大人も子どもも楽しめる、懐かしい正月遊びがいっぱいです。
・3日 あてももの(小学生以下先着200名) 10:00～16:30
・3日～9日 おみくじ 10:00～17:00
・3日～5日 絵馬(100円) 10:30～16:30
・4日～5日 書初め(100円) 13:00～15:00

■今昔館の風景を額縁に飾ろう

・1月3日(火)～5日(木)
①12:00 ②13:00 ③14:00
・材料費: 300円
・当日先着各回6名

■水引でうさぎストラップ

・1月21日(土)
①13:30 ②14:30
・材料費: 200円
・当日先着各回10名



■ミニ雛人形を作ろう

・2月25日(土)
①13:30 ②14:30
・材料費: 300円
・当日先着各回10名

■ミニ大工体験と木の継ぎ方を知ろう

・3月25日(土)
13:30～15:00

■折り紙で遊ぼう/☆折り紙を折ろう

・開催日: 偶数月 第3土曜日
13:30～15:00
・材料費: 100円
・当日先着16名



■折り紙で遊ぼう/☆鶴のつなぎ折り

・開催日: 奇数月 第3日曜日
①初級13:30～ ②中上級14:30～
・材料費: 100円
・当日先着各回8名

■見て聞いて楽しむ

■上方ことば塾
・開催日: 毎月第2日曜日
14:30～15:00

■今昔語り

・開催日: 毎月第3日曜日
14:30～15:00

■紙芝居

・開催日: 毎月第3日曜日
11:00～12:00

■芝居語り

・開催日: 毎月第4日曜日
①13:00 ②14:00 ③15:00

■絵本で楽しい時間

・開催日: 毎月第4日曜日
14:30～15:00

■大坂について学ぶ

■町家ツアー
・開催日: 平日・土曜日 11:00～
日曜・祝日 13:10～
・集合場所: 木戸門前

■町の解説

・開催日: 毎月第1・3日曜日
13:00～16:00
・場所: 町会所



※入場料(常設展)が必要です。
※費用の記述がないものは参加無料です。
※材料費は、当日お支払ください。
※日程等、予告なく変更になる場合がありますので予めご了承ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、定員の変更やセミナーを中止する場合がございます。その場合は「おおさか・あんじゅ・ネット」等でお知らせします。

1 住まい情報センター
主催イベント

住まい情報センターが主催するセミナー・イベントです

■第9回大阪市ハウジングデザインシンポジウム
「長屋から考えるこれからの都市居住」

- 日時: 2月25日(土) 13:00～16:00
- 場所: 3階ホール
- 登壇者: 魚谷繁礼(建築家、魚谷繁礼建築研究所代表、京都工芸繊維大学特任教授)、吉永規夫(建築家、Office for Environment Architecture)、高田光雄(博士(工学)、京都美術工芸大学教授、京都大学名誉教授)
- 定員: 会場100名 オンライン100名(いずれも申込先着順)
- 共催: 大阪市

同時開催

大阪市ハウジングデザイン賞パネル展

- 期間: 2月1日(水)～2月27日(月)
- 場所: 4階住情報プラザ

■住まいのライブラリーイベント
リサイクルブックフェア2022

- 日時: 1月21日(土) 13:00～16:00
- 場所: 3階ホール
- 定員: 90名(申込多数の場合は抽選)
- 申込締切: 1月7日(土)
- 各回、定員15名・30分・事前予約 / 完全入替制
- ※残った本は、引き続き1月22日(日)～2月27日(月)まで、4階住まいのライブラリー前で開催します。(住情報プラザの閉館時間中。)

あんじゅ読者アンケートにご協力ください。



2 住まい情報センター
タイアップイベント

住まい情報センターと住まい・まちづくりの専門家団体等が共催するセミナー・イベントです

■タイアップ+Plusセミナー
キッズデザイン「わたしのあかり」

- 日時: 2月4日(土)
1回目: 10:30～12:30
2回目: 14:30～16:30
- ※1回目または2回目のどちらかを選んで参加してください。
- 場所: 3階ホール
- 講師: (公社)日本インテリアデザイナー協会 会員
- 定員: 会場各回20名(保護者もしくは大人同伴)(申込多数の場合は抽選)
- 参加に必要なもの: クレパス・スティックのり・はさみ・えんぴつ・空のペットボトル(2ℓ)
- 参加費: 500円(お子様お一人につき)
- 締切: 1月21日(土)
- 団体: (公社)日本インテリアデザイナー協会[JID]

室内環境を整えよう
—グレードアップ! ネット環境と在宅時間—

- 日時: 2月11日(土・祝) 13:30～15:30
- 場所: 3階ホール
- 講師: 寺岡春恵(一級建築士)、松崎志志(カスタムインストーラー)、相河真弓(一級建築士)
- 定員: 会場50名 オンライン100名(いずれも申込先着順)
- 団体: NPO法人もく(木)の会

「くらしとお金」を守る防災対策 個別相談のみ
当日抽選

- 日時: 3月11日(土) 13:30～15:00
- 場所: 3階ホール
- 講師: 株丹いずみ(CFP®認定者・1級FP技能士)
- 定員: 会場50名 オンライン100名(いずれも申込先着順)
- 個別相談: 定員4組(1組50分)会場参加のみ(事前申込要)
- 団体: NPO法人日本FP協会大阪支部

参加申し込み方法

- ウェブサイトからの申し込み
申し込みは開催日の約2カ月前からになります。
- はがきまたはFAXで申し込み
記入事項を明記し、下記の住所、FAX番号へお申し込みください。
〒530-8582(住所不要)大阪市立住まい情報センター4F
FAX:06-6354-8601
- 記入事項: イベント名、住所、名前(フリガナ)、年齢、参加希望日、電話番号、手話通訳希望の有無、個別相談希望の有無など
- 参加費は特記以外無料、要事前申し込み。申込先着順の場合は、定員になり次第締切。抽選の場合は、締切後も定員に満たない場合は引き続き募集します。
- 申し込みの際の個人情報は、主催者で適切に管理し、イベントに関する連絡、統計データおよびイベント保険(必要な場合)への加入にのみ利用します。
- 午前8時45分時点で、「暴風警報」が発令されている場合は中止とさせていただきますが、セミナー開始3時間前までに解除された場合はセミナーを実施します。
- 手話通訳をご希望の方は開催2週間前までにお問い合わせください。
- オンライン受講を希望される方はウェブサイトからお申し込みください。

【注意】
一部のイベントを除き、参加証の発送はありません。「申込先着順」のイベントにお申し込みいただいた場合は、イベント開催当日、直接会場にお越しください。「抽選」の場合に限り、はがきかEメールで当落をお知らせします。

おおさか・あんじゅ・ネット
▶ <https://www.osaka-angenet.jp>

メルマガにご登録頂きますと、住まい情報センター主催のイベント情報が登録メールに配信されます。ぜひご登録ください。



今回、編集スタッフで防災まち歩きを実践してきました。普段まったく歩くことのない生活をしている私は慢性的な運動不足。そこへ来て、通る予定だった経路が車両が多くて危険、工事中で通れないなど、地図で確認していたとおりに進むことができません。回り道をするのがしんどい。私にとって本当に辛い取材となりました。

水防団に所属する多田さんは、「まちに愛着を持つことが防災意識につながる」と話します。漁業組合や淀川での漁のこと、以前川だったので高低差があるなど、防災以外の話題も合間に合間にお話してくださいました。

何気なく過ぎていた場所の違いが表情が見えると、そこから関心が出てくるかもしれません。ぜひ、ご自身の住むまちをじっくり歩いてみてください。運動不足解消にもなるはずですよ。

編・あ
集・ん
通・じ
信・ゆ



あんじゅバックナンバーはこちら



電気火鉢に手をかざして暖をとる
日本の冬を電化しました

日立 電気火鉢(高級角形) 昭和34年 4,180円

昭和30年代暖房器具は部屋全体を暖めるものより、コタツ・あなか・手あぶりなど、体の一部分の暖をとる採暖とよばれるものが主流でした。そんな昔からある火鉢を形そのままに電化したのが電気火鉢。電気火鉢は炭を扱う手間やガス中毒の心配がないということで人気がありました。

“空気のビタミン”で
心も身体もリラックス



三菱
マイナスイオン発生器「イオナイザー」
昭和39年 13,000円

昭和30年代も後半になると、大気汚染など経済成長の負の側面が問題となってきました。そんな頃、マイナスイオンには鎮静作用があり健康に良いとの論文が注目を浴び始めて開発がスタート。
日本初のマイナスイオン発生器「三菱イオナイザー」として発売されました。「イライラする、疲れやすい、頭が重い、眠れない方へ空気のビタミン発生器」…発売当時、マイナスイオンは馴染みのない言葉。そこで空気のビタミンと分かりやすい表現で宣伝をしました。



日米野球
サンフランシスコ
ジャイアンツが来日

東芝
ボール形トランジスタラジオ
昭和35年 6,900円

「華やかなベースボールのイメージを呼ぶ」と、東芝から発売された野球のボールを模したトランジスタラジオ。発売された昭和35年は、読売新聞社の招きで大リーグ・サンフランシスコジャイアンツの一行が来日。そのメンバーにもこのラジオがプレゼントされました。
このボール形ラジオは、東芝の石坂泰三会長の提案によるものだそうです。氏が渡米した際、球団コーチのオドールさんに世話になったとのこと、そのチームの来日に合わせて商品化されました。

昭和レトロ家電
「マスダコレクション展」
ユニーク家電
大行進!!
大阪くらしの今昔館研究員
増田 健一

皆さまこんにちは。今回ご縁あってこの冬、大阪くらしの今昔館で「昭和レトロ家電@マスダコレクション展 ユニーク家電大行進」という私のコレクション展を開催していただくことになりました。テーマは「ユニーク家電大行進」。当時のユニークな家電にスポットを当てました。昭和30年代、いわゆる「三種の神器」を中心にさまざまな家電製品が登場し、それにより暮らしは大きく変わりました。そんな中、ユニークな製品もたくさん登場しました。当時の家電各社の姿勢は、「電気で作れるものは電器でやってみよう」だったようです。いわば今以上に、可能性の追求というか試行錯誤した時代。それは時にアイデア先行だったかもしれませんが、むしろそんな製品こそ、時代の勢いや元気をより感じる事ができます。私はそこに魅力を感じて、ユニークな家電を中心にコツコツ収集してきました。ここからは展示会に出品するものをいくつかご紹介しましょう。

冬はありがたい
手を濡らさない
電化お米とぎ



早川(現シャープ)
自動洗米機
昭和36年 4,190円

ご飯を炊くときのお米研ぎを電化しようという製品です。その仕組みは、上から注水しながら水槽内の攪拌棒を回転させて洗米。あふれた水は、溢水口から外へ排出されます。
たしかに寒い冬など手を濡らさずありがたいのですが、国家公務員(高卒)の初任給が8300円のとときに4190円。やはり少々冷たいのは我慢して手で洗うでしょうねえ。しかし生活のいろんな場面に目を向けて、電化して生活をより便利に…という作り手の思いは伝わってきます。



高級感が溢れる黒い冷蔵庫

三洋 アート・ドア冷蔵庫「金馬車」 昭和44年 35,800円

冷蔵庫の普及率が50%を超えた昭和40年。単に冷やすだけでなく、「ルームファッション」として、家具と同じように居間に飾ってもらおうというねらい(朝日新聞「昭和40年6月30日」)もとアート・ドアシリーズの発売が始まりました。新聞には「黒い冷蔵庫なんて、仏壇イメージと思ったが、実際にみると家具として結構いける」との感想が。好評だったようで、有名な作家も起用して多くの種類が作られました。

人間の健康から
ナショナルキッドの
復活までビオライトにお任せ



松下(現パナソニック)
美容用赤外線器具「ビオライト」
昭和33年 950円

説明書には「ビオライトの赤外線は、皮膚の新陳代謝を促進しますので肌の若さを維持し、美容はもちろん、スポーツマンの保健及び、各種疾患の痛みを和らげ回復を早めます」と、その効能が書かれてあります。
松下電器提供の特撮番組「ナショナルキッド」(35〜36年)では、超能力を失ったナショナルキッドをビオライトで回復させる場面が登場。ビオライトは人間の美容・健康はもちろん、ナショナルキッドの復活まで幅広い効能があるようです。

「ユニーク家電大行進!! 昭和レトロ家電@マスダコレクション展」は2月19日まで。年の初めに、楽しくほっこりする気持ちになってもらえるのではと思っています。そんな昭和のユニーク家電へ会いに展示会へどうぞおいでくださいませ。

YouTube
「昭和レトロ家電チャンネル」



大阪市立住まいのミュージアム
大阪くらしの今昔館



【9階なにわ町家の歳時記】
江戸時代の大阪の町並みを実物大で再現。大通りには、風呂屋や本屋、薬屋などが並び、ひととき高い火の見櫓も。路地を抜けると裏長屋の庶民の生活をかきまわることできます。



【8階モダン大阪パノラマ遊覧】
近代大阪の代表的な住まいと暮らしをジオラマや資料で再現。

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20(住まい情報センター8階)
TEL:06-6242-1170 FAX:06-6354-8601

開館時間 10:00~17:00 (入館は16:30まで)
休館日 火曜日 年末年始 その他臨時休館あり
1月~3月の休館日 1/1, 2, 10, 17, 24, 31
2/7, 14, 21, 28
3/7, 14, 28
入場料 一般 600円/団体500円
高・大生 300円/団体200円(要学生証原本提示)
※団体は20名以上
※中学生以下、障がい者手帳・マイリD等提示(介護者1名含む)、市内在住の65才以上無料(要証明書原本提示)
※企画展示室の観覧料は別途必要です。
交通機関 ●Osaka Metro谷町線・堺筋線、阪急電鉄『天神橋筋六丁目』駅下車3号出口より住まい情報センター建物の地階へ連絡、エレベーターで8階へ
●JR大阪環状線『天満』駅から北へ約650m



※新型コロナウイルス感染症拡大の防止対策のため、ご利用の際には、マスクの着用や、手指消毒、他の方との距離を最低1mに保つなど、対策にご理解、ご協力をお願いいたします。

